

学校教育目標	学ぶ つながる 篠原の子 《思いをもつ力》 《かかわる力》 《やりぬく力》			
	創立 66 周年 児童生徒数: 684 人	学校長 岩元 カオリ	副校長 金子 京子	2 学期制 一般学級: 22 個別支援学級: 5
学校概要	主な関係校: 篠原中学校 篠原西小学校 港北小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	篠原中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に学習する力 情報活用能力 多様性を認め合う力	篠原中学校 篠原西小学校 港北小学校	○自己肯定感をもち、未知のことへ主体的にかかわる子ども ○他者への感謝の気持ちをもち、自らも社会貢献する子ども ・児童自らが学習の見直しをもって学ぶ授業展開を工夫し、学習意欲を高め、主体的に考える力を育てる。 ・生活や他者とのつながりを大切に学習を重視し、学ぶ意義や楽しさを知って意欲的に学ぶ子どもを育てる。 ・しのはら学校支援地域本部と密に連携し、地域コーディネーターの協力を受けて、生活科や総合的な学習の時間の充実を図る。

中期取組目標	○子ども一人ひとりの思いを大切に、自己肯定感を高め、対話的な学びを充実させます。 ・1年目は子どもが自分の思いを大事にし、それを友達に話してみよう、先生に伝えてみようと思える授業づくりを推進します。 ・2年目は一人ひとりの思いを大切にしながら、互いにかかわりあう力を育てます。 ・3年目は周りとのかかわりあいから深めた自分の考えを、発信しようとする意欲を育てます。 ○日々の観察とデータを活用し、子ども一人ひとりの変化をとらえ、学びの充実に生かします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>重点研推進</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	重点研推進	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりを行う。授業づくりについて研究できる時間を学年で確保する。②自分の考えを表現する言葉をもち、友達と伝え合いながら自ら進んで表現する子の育成に取り組む。教科の特性に合わせて学びを深める研究を行う。研究の方法や方向性を全職員で共有しながら、子どもを育成していく。
知	授業改善				
担当	重点研推進				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>道徳部・人権担当</td> </tr> </table>	徳	道徳教育	担当	道徳部・人権担当	①別業を活用した授業づくりを意識する。 ②委員会や学習活動の中で異学年交流を行い、お互いに相手を思いやる気持ちを育てていく。 ③教育活動全体での道徳教育を意識し、毎日の心の育ちや心の健康について考え、大切にしてこうとする土壌を育てていく。
徳	道徳教育				
担当	道徳部・人権担当				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育部	①引き続き学校薬剤師や歯科衛生士などと連携しながら、健康教育の充実を図る。また、栄養士が給食時に巡回し、栄養バランスや食事のマナーなどを直接指導することを通して、児童自身の気づきにもつなげていきたい。②校庭の縮小に伴って運動量の減少が懸念される。運動委員会を中心に、室内や小規模スペースでできる運動などを考案し、全校で体力向上に取り組めるようにしていく。
体	健康教育				
担当	体育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>自分づくり教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活部生活総合部</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育	担当	特活部生活総合部	①生活科・総合の時間の学習をメインに、地域の「力」を今まで以上に活用し、体験的に学ぶ機会を数多く授業展開に盛り込んで、生き方や進路に対する基礎的な考えや能力を養えるようにする。そして、一人ひとりが自己有用感を高められるようにしていく。②自分の学習状況やキャリア形成をメタ認知できるような活動や振り返りができるような授業展開を考えていく。
公開	自分づくり教育				
担当	特活部生活総合部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童支援・児童指導部</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童支援・児童指導部	①児童がいじめに対するSOSを発信したり相手の思いを考えたりすることができるような活動を行っていく。②毎月のいじめ防止対策委員会で情報共有を行い、組織的にしっかりと対応し、臨時いじめ防止対策委員会を迅速に開き、積極的にいじめを認知し、過ごしやす教育環境を整備していく。
いじめへの対応					
担当	児童支援・児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営		担当	教務部	①オブザーバーの設置・ステージ2の先輩教員から学ぶ・先進校公開授業の見学・個人面談演習・ビジネスマナー講座など必要感のあるメンター研を設置する。合わせてミドル研修についても考えていく。②働き方改革で必要なものまで捨て去り、個々の力が十分に生かされていない。支え合える組織体制を整備していきたい。
人材育成・組織運営					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>地域連携部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	地域連携部	①教育活動に保護者を巻き込み、子どもたちの学習をたくさん目の目で支えていく。②これまでの活動から地域との関わりを淡いだし、職員の入れ替わりがあっても共通理解できるようにする。そして、それを活かして積極的に本物と出会う体験ができるような教育活動を計画する。
地域学校協働活動					
担当	地域連携部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	児童指導部	①特別支援担当者を中心として、特別支援の具体についての研修を行う。②外部機関のセンター的機能をさらに活用し、専門的な考えや個に合う支援を取り入れる。③個別支援級の児童のさらなる児童増加に合わせて、支援員等も含めた、支援方法の共有を心がけていく。④特別支援委員会を継続し、多様な学びの場を保証していくため、個に合う支援の方法を考えていく。
特別支援教育					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">情報活用能力の育成</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>情報部・重点研究</td> </tr> </table>	情報活用能力の育成		担当	情報部・重点研究	①学習のねらいや場面にに応じて必要な情報を取捨選択する目を育て、自分のものとして再構築し、最適な発信方法で共有することができるような学習形態を、各教員の実践を共有しながら、授業づくりを進めていく。②情報モラル指導の重要性を踏まえ、日常敵に機会を捉えながら、情報モラル教育に取り組んでいく。また、必要に応じて保護者とも連携し、継続的な指導につなげていく。
情報活用能力の育成					
担当	情報部・重点研究				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童指導・児童支援</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	児童指導・児童支援		担当	児童指導部	①スタンダードをもとに教師が一体となり、プレのない指導・支援を心がけ、社会規範に照らし合わせながら、児童に分かりやすく・納得できるルールを示していく。②チームマネージャーを中心に、チーム学年経営をさらに推し進める組織づくりをする。③専任を中心に、各担任の児童指導力が向上するような研修・指導を行い、教職員の児童指導への理解も深めていく。
児童指導・児童支援					
担当	児童指導部				